

中 学 校	テーマ	命のいとおしさ		
	ねらい	乳児とふれあう体験などをとおして、命をいとおしく思う気持ちを持つ。		
	指導のポイント	事前	学習・体験	事後
	<p>【感動の体験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出産、育児についての体験談話をとおして、生命誕生の神秘や親子の愛情の深さを感じさせる。 ・ 実際に乳児とふれあう体験をとおして、小さな命をいとおしく思う気持ちを持たせる。 <p>【感性を育む】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乳児の肌の柔らかさから命のぬくもりを感じさせる。 ・ 小さな命をいとおしく思う気持ちから、親子の情愛を感じさせる。 <p>【想像力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゲストティーチャーの話から出産や育児に関する喜びや不安・苦労を感じとらせる。 ・ 家族やゲストティーチャーの話をとおして、自分の誕生や生育について思いをはせる。 	<p>【先生の準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの誕生時の話などを家族に依頼する。 ・ 育児体験に協力してもらえる親子に依頼し、連絡する。 ・ 子どもの家庭環境を把握し、個々の子どもへの配慮など事前事後の指導を充実させる。 <p>【教育課程上の位置づけ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 技術・家庭 ・ 総合的な学習の時間 <p>【子どもたちの準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乳児とのふれあい体験を整理しておく。 <p>【家庭・地域との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家族から自分の誕生や乳児期に関する話を聞く。 ・ 乳児との接し方について家族から教わる。 	<p>育児体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乳児にふれたり、抱いたり、あやしたりする。 ・ 赤ちゃん人形・妊婦シミュレーターを使った体験をする。 <p>調べ学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 妊娠や出産、育児について調べる。 ・ 乳児の抱き方やあやし方について調べる。 <p>ビデオ学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 『出産』（アーニー出版） <p>ゲストティーチャーによる話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出産・育児経験のある教員から妊娠、出産、育児に関する体験を聞く。 ・ 乳児とその母親を招き、出産にまつわるエピソードや我が子に対する思いを聞く。 	<p>【子どもたちの予想される心の動き】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分は幼い頃、大切にされていたんだなあ。 ・ 赤ちゃん、柔らかいなあ。 ・ 赤ちゃん、かわいいなあ。 ・ 命って不思議だ。 ・ 赤ちゃんを産むって大変だなあ。 <p>【振り返りカードへの記入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習・体験の後に、子どもたちに自分の心の動きを振り返らせ、振り返りカードに記入させる。 <p>【日常生活での実践・家庭との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 母子手帳・へその緒・その他の記録等をみながら、子どもが生まれた当時のことを話し合ってもらう。 <p>【先生の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生命誕生の不思議さや、自己の命の誕生に思いをはせ、乳児に接することで、小さな命を慈しむ態度が育成できたか。 ・ 自分は一人で生まれて育ってきたのではなく、周囲の人々のたくさんの愛情に支えられていることを理解させることができたか。